

令和7年度 第2回 琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会 議事概要

- 1 日 時：令和8年3月25日(水) 10:00~12:00
- 2 場 所：関西広域連合本部事務局大会議室
- 3 出席者：多々納 裕一委員（座長）、石田 裕子委員（副座長）、
田中 賢治委員、平山 奈央子委員
- 4 議 事：（1）プラスチック対策検討会の取組について
（2）水源保全連絡会議の取組について
（3）琵琶湖・淀川流域対策の取組の方向性（案）について

(1) プラスチック対策検討会の取組について

- ・ せっかく取り組んでいるのに、取組内容がどう現場の改善や成果に繋がったのかが見えにくい。
- ・ 市民や自治体等に成果を共有すると同時に、シンポジウムやイベントでの優良事例のシェアや、市民が協力してよかったと思えるような仕組みづくりを進められると良い。

(2) 水源保全連絡会議の取組について

- ・ 森林整備効果の分析結果については、ダム貯水量や取水制限回避への寄与等、意義が伝わりやすい表現を用いてほしい。
- ・ シンポジウムでどのようなことを行ったか、HP等で概要が伝わるようにしてほしい。そうすることで参加した高校生にとっても記念になる。

(3) 琵琶湖・淀川流域対策の取組の方向性（案）について

- ・ シンポジウムは毎年開催したほうがよい。特にパネル展示は団体の輪を広げるという観点で大切であり、継続的に場を設けたほうがよい。
- ・ フィールドワークは企業や専門家を巻き込んでほしい。
- ・ 流域内の上下流交流の機会を創出したり、他流域とも交流を広げたりしてほしい。